

# 『日本の金融機関の構造変化とアジア経済』

## 第1回研究会

- ◆ 日時、場所 2012年4月24日(火) 10:00~12:00 APIR 会議室  
5月11日(金) 10:45 ~ 12:45 関経連会議室

### ◆ メンバー

リサーチリーダー	地主 敏樹	神戸大学	教授
リサーチャー	猪口 真大	京都産業大学	准教授
リサーチャー	三重野文晴	京都大学	准教授
リサーチャー	梶谷 懐	神戸大学	准教授
リサーチャー	岩壺健太郎	神戸大学	准教授
リサーチャー	金京拓司	神戸大学	教授
リサーチャー	砂川 伸幸	神戸大学	教授
リサーチャー	播磨谷浩三	立命館大学	准教授
リサーチアソシエイツ	劉 亜静	神戸大学	博士課程後期
代表理事	岩城 吉信	A P I R	
研究統括	稲田 義久	同上	
研究員	岡野 光洋	同上	
事務局	島 章弘	同上	次長
事務局	仲川 洋子	同上	次長

### ◆ 次第

- 研究のフレームワークについて確認（意見交換）
  - ・ テーマ、視点
  - ・ 調査・分析等の手法、スケジュール
  - ・ 2012年度アウトプット、研究成果イメージ など

### ◆ 議事要点

#### ① 本研究の視点

- ・ 関西地域においてメガバンクは縮小傾向であり、アジアへ進出している現状がある。
- ・ 地銀の中にもアジア進出を実施中の銀行もある。  
上記を踏まえ、邦銀の海外再展開や地銀による進出企業への総合的サービスのあり方や効果、進出する邦銀・企業の地元関西における金融構造の変化を分析し、課題把握や提言につなげる。

#### ② 研究の手法は下記にて実施することとした。

- ・ 企業、及び金融機関アンケートの実施。また主要銀行、企業は直接ヒアリング実施。
- ・ 8月に中国での調査を実施し、直接現地の情報を収集する。 以上

